

新宮一成教授 略 歴

昭和二五年（一九五〇）四月十七日 大阪市に生まれる
 昭和四四年（一九六九）三月 大阪府立北野高等学校卒業
 昭和四四年（一九六九）四月 京都大学医学部入学
 昭和五〇年（一九七五）三月 同上 卒業
 昭和五〇年（一九七五）七月 医師免許証取得（医籍登録番号第 228247 号）
 昭和五〇年（一九七五）八月 京都大学医学部附属病院医員（精神神経科）
 昭和五二年（一九七七）八月 大津赤十字病院医師（精神神経科）
 昭和五五年（一九八〇）四月 京都南通信病院医師（健康管理科）
 昭和五六年（一九八一）四月 京都大学助手（保健診療所）
 昭和五八年（一九八三）一〇月（同五九年（一九八四）九月）フランス共和国へ出張（フランス政府給費留学生）
 昭和六〇年（一九八五）七月 授 京都大学医学博士
 昭和六三年（一九八八）四月 京都大学助教授（教養部）
 昭和六三年（一九八八）六月 精神衛生鑑定医指定
 平成三年（一九九一）四月 京都大学助教授（大学院人間・環境学研究科）
 平成八年（一九九六）四月 臨床心理士資格取得（登録

平成一〇年（一九九八）四月 日本病跡学会学会賞（正賞）
 受賞

平成一一年（一九九九）八月 精神保健指定医 更新（第 6505 号）

平成一二年（二〇〇〇）一月 サントリー学芸賞（歴史・思想部門）受賞

平成一八年（二〇〇六）一〇月 学会認定精神科専門医

平成二八年（二〇一六）三月 京都大学定年退職

平成二八年（二〇一六）四月 京都大学名誉教授

平成二八年（二〇一六）四月 奈良大学教授（社会学部心理学科）

主な業績（抄）

- ・ 著書については、単著、欧文の共著、および、自ら編集にあたった編著（共編含む）を記載する。
- ・ 論文については、京都大学教養部着任（昭和六三年（一九八八）以降の単著論文のみとし、あわせて欧文の共著論文も記載する。それ以前については、学位論文のみ記載する。
- ・ 翻訳については代表的なものにとどめる。

著書 (単著)

429-433, 1988.

- (1) 『夢と構造』
弘文堂、昭和六三年(一九八八)三月、全三四頁
- (2) 『無意識の病理学』
金剛出版、平成元年(一九八九)一〇月、全一三三頁
- (3) 『ラカンの精神分析』
講談社、平成七年(一九九五)、全三一八頁
『無意識の組曲ー精神分析的夢幻論ー』(日本病跡学会学會賞「正賞」受賞)
- (4) 『夢分析』(サントリー学芸賞「歴史・思想部門」受賞)岩波新書
岩波書店、平成九年(一九九七)二月、全一九八頁
- (5) 『夢分析』(サントリー学芸賞「歴史・思想部門」受賞)岩波新書
岩波書店、平成一二年(二〇〇〇)一月、全二四八頁
- (6) *Being Irrational - Lacan, the objet a, and the Golden Mean -*.
(trans. Radich, M.),
Gakju - Shoin, Tokyo, 2004.
- (7) Shingu, K. : Le corps morcelé et la distinction entre schizophrénie et hystérie.
Clinique Différentielle des Psychoses. (éd. La Fondation du Champ freudien), Navarin, Paris, Pp.
- (8) Ogawa, T., Suzuki, K., Koide, H. et Shingu, K. : Le transfert comme réalisation du scène primitive? *Les Stratégies du Transfert en Psychanalyse*. (éd. La Fondation du Champ Freudien)
Navarin, Paris, Pp.186-191, mars, 1992
- (9) Ogawa, T., Shingu, K. et Suzuki, K. : La mise en scène du transfert dans le rêve : une sortie d'analyse par un acte shakespearien. *La Conclusion de la Cure*. (éd. La Fondation du Champ freudien)
Eolia, Paris, Pp.365-368, mai, 1994
- (10) 『精神の病理学ー多様と凝集ー』(共編著)
金芳堂、平成七年(一九九五)二月
- (11) 『意味の彼方へーラカンの治療学ー』(編訳)
金剛出版、平成八年(一九九六)二月
- (12) 『精神医学群像』(共編著)
アカデミア出版会、平成一一年(一九九九)二月
- (13) Miyoshi, A, Shingu, K. : History of Psychoanalysis in Japan.
Hananaka, T, Berrios, G.E.B (eds) : *Two Millennia of Psychiatry in West and East*.
Gakju-Shoin, Tokyo, Pp. 133-141, May 2003.
- (14) 『精神障害とつれからの社会ー共生の論理をもとめて①ー』(共編著)
メルヴィヤ書房、平成一四年(二〇〇二)六月
- (15) 『新世紀の精神科診療②: 病の自然経過と精神療法』(編

著)

- (16) 中山書店、平成二五年(二〇〇三)三月
『精神の病理とわたしたちの人生ー共生の論理をもとめて②ー』(共編著)
≪ネルヴァ書房、平成一五年(二〇〇三)六月
- (17) 『現代医療文化の中の人格障害』(共編著)
中山書店、平成一五年(二〇〇三)八月
- (18) 『精神分析学を学ぶ人のために』(共編著)
世界思想社、平成一六年(二〇〇四)十一月
- (19) 『知の教科書 フロイト＝ラカン』(共編著)
講談社、平成一七年(二〇〇五)五月
- (20) Shingu, K.: *Psychoanalysis and regulation in Japan*. In : Parker, I. and Revelli, S. (eds.): *Psychoanalytic Practice and State Regulation*.
Karnac, London, Pp. 133-143, 2008
- (21) Shingu, K.: Freud, Lacan and Japan. In : Nina Comyzet and J. Keith Vincent (eds.): *Perversion and Modern Japan: Psychoanalysis, literature, culture*.
Routledge, Oxon, New York, 2010.
- (22) 『つららの病理学』(共編著)
丸善出版、平成二二年(二〇一〇)五月
- (23) 『描画と病跡ー三好暁光論文集ー』(編集)
ライフメディアコム、平成二四年(二〇一二)二月
- (1) Shingu, K., Sato, M. and Miyoshi, A.: *Psychiatric diagnosis in a Japanese university population*.
J. Am. College Health, 31 : 67-72, 1982.
- (2) 夢における幻覚性要素
- (3) 『神経精神薬理』第一一巻四六五ー四七二頁、平成元年(一九八九)六月
描画状況における主体
- (4) 『臨床描画研究』通巻四号八二ー九五頁、平成元年(一九八九)七月
いわゆる「境界例」患者の苦しみの構造についてー主体の分裂、フェティシズム、移行現象ー
- (5) 『臨床精神病理』第一一巻一〇五ー一一六頁、平成二年(一九九〇)六月
病跡学に精神分析を用いることから導き出される二つの原則について
- (6) 『日本病跡学会誌』通巻四二号二二ー三〇頁、平成三年(一九九一)五月
夢見の過程の情報処理理論のために
- (7) 『臨床精神医学』第二〇巻五六ー五六六頁、平成三年(一九九一)五月
絵を描くフロイト・絵を見るフロイトー画面によって構成される治療関係の理論のためにー
- 『臨床描画研究』通巻六号一〇三ー一一〇頁、平

- (7) 無意識の発見
『数学セミナー』第三二卷五〇―五一頁、平成五年（一九九三）一月
- (8) 成三年（一九九一）七月
エディブスコンプレックスは如何にして知られ、如何なる運命を辿るのか
『精神分析研究』第三六卷一号五三―五九頁、平成四年（一九九二）五月
- (9) 無意識の発見
『数学セミナー』第三二卷五〇―五一頁、平成五年（一九九三）一月
- (10) ロベルト・シューマン論（2）―沈黙と幻聴―
『日本病跡学会誌』通巻四七号五四―六四頁、平成六年（一九九四）五月
- (11) シヤルコーとフロイト
『臨床精神医学』第七卷一七五―一八〇頁、平成六年（一九九四）二月
- (12) 精神病の発病過程における言語新作の役割
『精神神経学雑誌』第九六卷七四〇―七五四頁、平成六年（一九九四）九月
- (13) La partie muette devenue parole
La Lettre Mue de l'École de la Cause freudienne, "Avril, 1996": 26-27, 1996.
- (14) 無意識と言語―精神分析における起源への問い―
『人間存在論』第二号二四五―二五六頁、平成八年（一九九六）三月
- (15) 音楽の創作過程における癒しと喪―ロベルト・シューマン論（3）―
- (16) 『日本病跡学会誌』通巻五二号二三―二九頁、平成八年（一九九六）一二月
所有の病理
『人間存在論』第三号二八五―二九六頁、平成九年（一九九七）三月
- (17) 伝統における自己の住処…黄金比
『臨床描画研究』通巻二三号一七四―一八五頁、平成一〇年（一九九八）六月
- (18) 精神分析・精神療法からみた幻覚
『臨床精神医学』第二七卷七五三―七五八頁、平成一〇（一九九八）七月
- (19) 自我の病理と他者の出自
『臨床精神病理』第二〇卷一一九―一二七頁、平成一一年（一九九九）八月
- (20) 死の主体化は可能か？
『あうろーら』通巻一七号四六―五二頁、平成一一年（一九九九）一〇月
- (21) 創造と症状のあいだ
『日本病跡学会誌』通巻五八号二―一二頁、平成一一年（一九九九）一二月
- (22) Ecriture japonaise et inconscient
Daruma-Revue d'études Japonaises (Université de Toulouse-le Mirail), No.6: 13-21, mars, 2000.
- (23) 精神分析から見た身体像
『臨床描画研究』通巻一四号二〇―二九頁、平成

- (24) 一二年(二〇〇〇)九月
転移と恋愛
『精神科治療学』第一五卷一〇一―一〇一七頁、平成二二年(二〇〇〇)一〇月
- (25) 認識論的危機としての病跡学―病跡学の発想と方法をめぐって―
『日本病跡学会誌』通巻六〇号二九三―三六頁、平成二二年(二〇〇〇)二月
- (26) 夢と夢分析
『国文学』第四六卷九六一―一〇二頁、平成一三年(二〇〇一)一月
病跡学と精神分析
- (27) 『精神医学』第四三卷一三七一―一四四頁、平成一三年(二〇〇一)二月
- (28) 現代美術とファルスの運命―精神分析からの弁明―
『武蔵野美術』第一二〇号七一―八〇頁、平成一三年(二〇〇一)四月
- (29) 精神分裂病におけるネオロジスム―ものの代わりとしての言葉―
『精神医学レビュー』通巻四〇号四八―五五頁、平成二三年(二〇〇一)九月
- (30) 自己内包性の精神史(心身二元論の相克を超えて・その1)
『精神医学史研究』第六卷一号七九―九〇頁、平成一四年(二〇〇一)四月
- (31) Sagawa, M., Shingu, K., Yokota, S., Ozaki, T.: Body image and female neurotic narcissism in adolescence.
J. Child Adolesc. Psychiatr., 43 Supplement:96-109, 2002
- (32) 〈統辭論的鏡像〉について
『人間存在論』第九号二〇七―二二二頁、平成一五年(二〇〇三)
- (33) 無意識と描画―メラニー・クラインの幻想の世界―
『臨床描画研究』通巻一八号九六一―一〇八頁、平成一五年(二〇〇三)六月
- (34) 不安の存在と不安の關係―精神病理学における不安概念の歴史をふり返って―
『臨床精神病理』第二六卷一七二―一八〇頁、平成一七年(二〇〇五)八月
- (35) エディプスの犯罪
『劇場文化』通巻八号二三六―二四四頁、平成一七年(二〇〇五)五月
- (36) Shingu, K.: Freud, Lacan and Japan.
The Letter : Lacanian Perspectives on Psychoanalysis, 35 : 48-62, 2005.
- (37) Shingu, K.: A history of the self-containing structure of the mind.
The Letter : Lacanian Perspectives on Psychoanalysis, 35 : 63-69, 2005.
- (38) Shingu, K.: Japanese myth, Buddhist legend, and the

- structural analysis of clinical dreams in relation to the mourning process.
The Letter : Lacanian Perspectives on Psychoanalysis, Summer 2006 : 93-113, 2006.
- (39) 夢分析における図像の読み解き
『臨床描画研究』通巻二二二号四六一五五頁、平成一九年(二〇〇七)六月
- (40) 「夢を見る」から「夢を語る」まで
『日本病跡学会誌』通巻七四号三八一四三頁、平成一九年(二〇〇七)十二月
- (41) Shingu, K. and Funaki, T. : 'Between two Deaths' : The intersection of psychoanalysis and Japanese Buddhism.
Theory and Psychology, 18 (2) : 253-267, 2008.
- (42) 冗談、テレパシー、夢、そして神経症における「事後性」
『精神分析&人間存在分析』通巻第一六号五九一六五頁、平成二〇年(二〇〇八)十二月
- (43) Shingu, K. : Oedipus and the Other in Japan.
Annual Review of Critical Psychology, 7 : 277-285, 2009. <http://www.discourseunit.com/arcp/7.htm>
- (44) 移行領域としての生と死、その描画表出
『臨床描画研究』通巻二二五号三二一四四頁、平成二二年(二〇一〇)六月
- (45) 精神療法についての構造的な考察
『臨床精神病理』第三二二巻二号一二九一三九頁、平成二二年(二〇一〇)八月
- (46) 妄想形成と「事後性」
『精神分析&人間存在分析』通巻一八号四一五〇頁、平成二二年(二〇一〇)十二月
- (47) Shingu, K. : The creation of the Other World : From dream to reality.
The Journal of the Centre for Freudian Analysis and Research, No. 21 : 15-28, 2011.
- (48) 精神分析からみた睡眠と夢
『精神科治療学』第二七巻八号一〇五三一〇五七、平成二四年(二〇一二)八月
- (49) 統合失調症における「陽性転移」
『精神科治療学』第二七巻一五八九一五九三頁、平成二四年(二〇一二)十二月
- (50) 精神病理におけるLacan的アプローチについて
『臨床精神病理』第三四巻一七三三三頁、平成二五年(二〇一三)四月
- (51) Living with the Impossible through the Letter.
Rivista di Psicologia Clinica, No. 8 : 66-71, 2013.
- (52) 精神病理学における精神療法的に考えるところと
『臨床精神病理』第三四巻三二八七二九五頁、平成二五年(二〇一三)十二月
- (53) 日本の文字と無意識の実践
『精神分析&人間存在分析』通巻二二二号二九一三八頁、平成二六年(二〇一四)十二月

- (54) 精神医学の歴史における精神分析ー働き続ける痕跡としてー
『精神医学史研究』第一九卷一五五―一〇頁、平成二七年(二〇一五)六月
『臨床精神病理』第三六卷二号一八三―一九二頁、平成二七年(二〇一五)八月
- (56) Shingu, K.: Transference of creation: Freudian bipolarity between creating and being created.
Comparative Literature Association of the Republic of China, Newsletter No.14, (<http://claroc100.wix.com/newsletterno14>): 45-48, 2015
- (57) Shingu, K.: Le rêve et les points de fixation dans la psychosomatique (Le corps mythique et la psychosomatique au Japon, II).
Psy Cause, 70: 20-24, 2015.
- 翻訳
- (1) フォーリー、V. D. 著『家族療法ー初心者のためにー』(第三版)(共訳)
創元社、平成五年(一九九三)一月
- (2) シーガル、H. 著『夢、幻想、芸術』(共訳)
金剛出版、平成六年(一九九四)一月
- (3) ラカン、J. 著・ミレール、J. A. 編『精神分析の四基本概念』(共訳)
- 岩波書店、平成二二年(二〇〇〇)二月
- (4) フロイト、S. 著「夢解釈Ⅰ・Ⅱ」『フロイト全集 4・5』
岩波書店、平成一九・二三年(二〇〇七・二〇一一)
- (5) フロイト、S. 著「欲動と欲動運命」他『フロイト全集 14』(共訳)
岩波書店、平成二二年(二〇一〇)九月
- (6) フロイト、S. 著「精神分析入門講義」『フロイト全集 15』(共訳)
岩波書店、平成二四年(二〇一一)五月
- (7) ラカン、J. 著『精神分析における話の機能と言語活動の領野』
弘文堂、平成二七年(二〇一五)二月
- 学会活動
- 日本病跡学会(理事、二〇一四年度まで)(一九九九年第四六回大会にて大会長)
- 日本描画テスト・描画療法学会(常任理事)(二〇〇九年第一九回大会にて大会長)
- 日本精神病理学会(理事)(二〇一三年第三六回大会にて大会長)
- 日本精神医学史学会(理事)(二〇一四年第一八回大会にて大会長)
- 日本芸術療法学会(理事)、日本精神神経学会(会員)
- 日本映像学会(会員)、日本比較文学会(会員)

